



議会だより

板野町 ITANOTOWN

<https://www.town.itano.fokushima.jp/add/gikai/>



目次

- ～令和6年第3回定例会／第2回臨時会～
- P2～P3 決算認定(定例会)
- P4 その他提出議案(定例会・臨時会)
- P5～P9 一般質問(定例会)
- P10 全員協議会報告
- P11 タワレット導入について
- P12 議会のうごき など

VOL
7
2024.12.5

板野南幼稚園
みんなでボール遊び、楽しいな！

決算認定

令和6年第3回定例会 提出議案

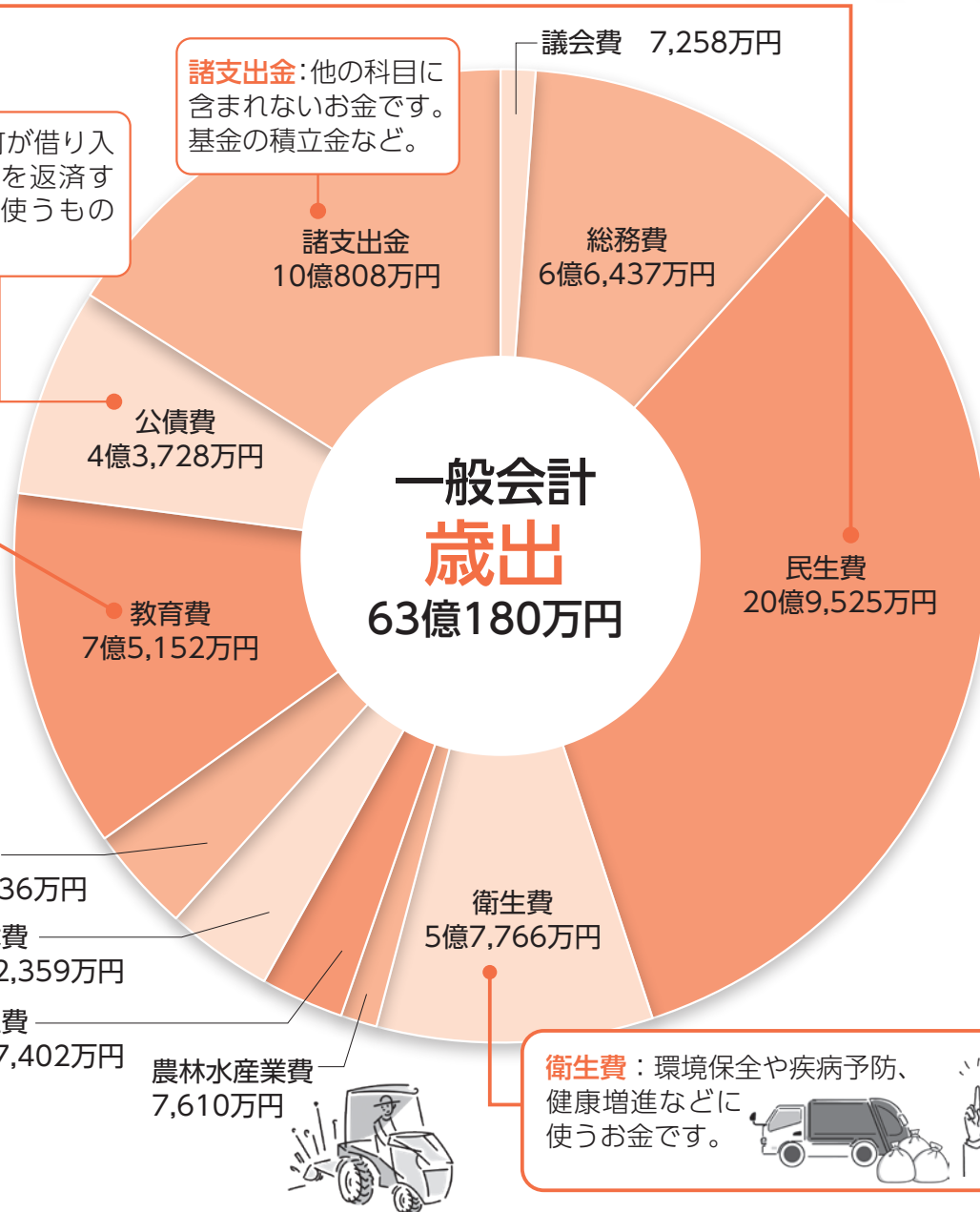
会期は8月30日～9月12日
合計 26 案件（報告3案件・議案 23 案件）

全て **可決** されました。

今定例会では、
令和5年度の決算認定がされましたので
決算額などについて、ご報告いたします。

公債費: 町が借り入れたお金を返済するために使うものです。

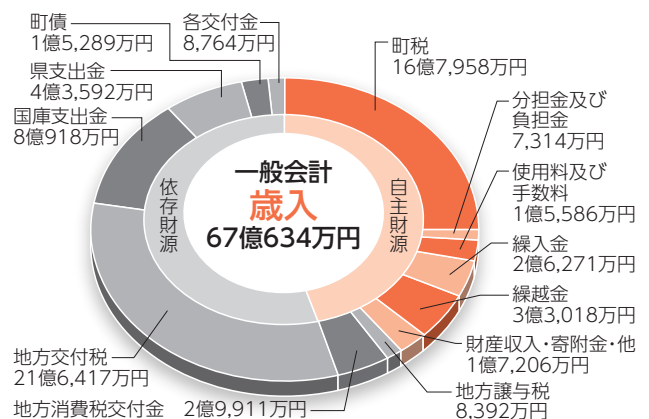
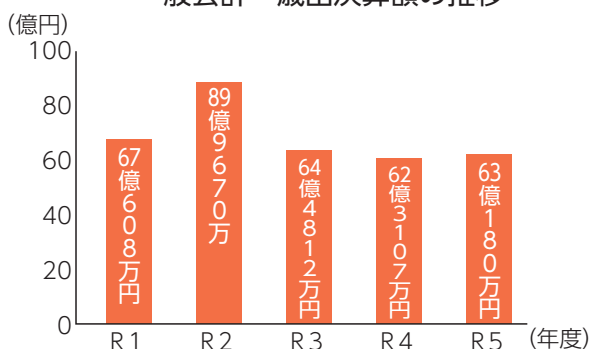
諸支出金: 他の科目に含まれないお金です。基金の積立金など。



衛生費: 環境保全や疾病予防、健康増進などに使うお金です。



一般会計 歳出決算額の推移



令和5年度一般会計

民生費：社会福祉や高齢者福祉、子育てに使うお金です。

- **高齢者タクシー利用料金助成金**.....1,057 万円
- **老人憩の家改修工事**.....2,028 万円
- **住民税非課税世帯等臨時特別給付金**.....1 億 7,172 万円
- 物価高騰による家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し給付
- **板野町出産祝金**.....790 万円
- **出産・子育て応援給付金**.....950 万円
- **保育園保育棟の改修及び屋上防水改修に係る工事費**.....4,568 万円
- **子育て世帯生活支援特別給付金**.....745 万円

食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯を支援する
取組の一つとして、住民税非課税世帯の子ども 1 人当たり 5 万円の給付金を給付



教育費：教育のために使うお金です。

- **入学祝金**.....212 万円
- 子育て支援事業の一環として、小・中学校に入学をされた児童・生徒に対し 1 人当たり 1 万円を支出
- **東小学校管理棟施設改修工事**.....1,376 万円
- 老朽化に伴う改修
- **東小学校講堂エアコン設置工事**.....1,623 万円
- **西小学校施設等修繕料**.....450 万円
- **南小学校施設等修繕料**.....249 万円
- **中学校施設等修繕料**.....558 万円
- **南幼稚園施設等修繕料**.....221 万円
- **文化の館空調設備更新工事**.....1 億 1,547 万円



消防費：災害の防除や減災などのために使うお金です。

- **災害対策用備品購入代**.....407 万円
- 避難所用に蓄電池及び充電用のソーラーパネルを購入



土木費：公共事業のうち土木事業などに使うお金です。

- **木造住宅耐震改修工事補助金**.....570 万円
- **町道等維持・整備工事費**.....5,643 万円
- **デジタルサイネージ（電子案内板）の設置工事費**.....2,580 万円
- 道の駅いたの駐車場に設置



商工費：商工業の振興などに使うお金です。

- **あせび温泉設備工事**.....4,163 万円
- 機械設備更新及び最終放流ポンプ取替え



※決算について、より詳しい内容はお11月号をご覧ください。
※その他の議案については、次のページをご覧ください。

特別会計・企業会計決算額

会計名		歳入	歳出
特別会計	国民健康保険	16 億 8,590 万円	16 億 6,699 万円
	住宅新築資金等貸付事業	540 万円	497 万円
	奨学金貸与事業	368 万円	368 万円
	後期高齢者医療	2 億 402 万円	2 億 166 万円
	介護保険（保険事業）	16 億 1,686 万円	14 億 9,464 万円
	介護保険（介護サービス事業）	1,037 万円	528 万円
企業会計	水道事業会計	収益的収入 2 億 6,401 万円	収益的支出 2 億 3,102 万円
	下水道事業会計	収益的収入 2 億 4,514 万円	収益的支出 1 億 8,970 万円

令和6年第3回定例会 その他の提出議案

令和6年度 補正予算

会計名	補正額
一般会計（第4号）	+ 2億 5,313万円
国民健康保険会計（第2号）	+ 891万円
住宅新築資金等貸付事業会計（第1号）	+ 42万円
後期高齢者医療会計（第1号）	+ 236万円
介護保険会計（保険事業）（第1号）	+ 1億 2,221万円
介護保険会計（介護サービス事業）（第1号）	+ 509万円
下水道事業会計（第1号）	増減はなく、科目の組替えのみ

一般会計（第4号）

主な補正の内容と補正額

- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金 1,000万円
- 予防接種委託料 495万円
- 基金積立金 2億 2千万円

報告

令和5年度板野町土地開発公社決算状況の報告

令和5年度決算に係る板野町健全化判断比率及び資金

不足比率の審査の報告

継続費精算報告（文化の館整備事業）

条例改正

板野町国民健康保険条例の一部改正

令和6年12月2日以降、被保険者証の新規発行がされなくなることに伴う文言の修正や削除。

板野町教育委員会委員の任命に同意

田中 留美氏（再任）
坂東 恭氏（再任）

板野町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

原 俊夫氏（再任）

その他

松茂町ほか二町競艇事業組合規約の変更

組織名称を「松茂町ほか二町ボートレース事業組合」に改めるもの。

板野町クリーンセンター第一攪拌槽防食塗装工事に係る請負契約の締結

一般競争入札会を執行し、落札業者と仮契約を行ったため、工事の請負契約を締結するもの。

水循環型シャワーステム購入事業に係る契約の締結
物品等指名競争入札会を執行し、落札業者と仮契約を行ったため、物品購入契約を締結するもの。

令和6年度板野町健康の館改修工事に係る請負契約の締結
指名競争入札会を実施し、落札業者と仮契約を行ったため、請負契約を締結するもの。

令和6年第2回 板野町議会臨時会

7月12日

議案4件全て可決

補正予算

令和6年度一般会計補正予算（第3号）

定額減税補足給付金給付事業に係る給付金として5千3百万円を追加。

その他

徳島県市町村総合事務組合規約の変更

森林環境税を住民税に含めて徴収することとなり、滞納整理機構へ町税等の滞納案件として、徴収を依頼するための規約変更。

徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更

上位法の改正に伴うもの。

令和6年度板野町健康の館改修工事に係る請負契約の締結
指名競争入札会を実施し、落札業者と仮契約を行ったため、請負契約を締結するもの。

各提出議案の詳しい内容は板野町ホームページに掲載の会議録をご覧ください。

質問事項：小中学校でのAEDについて

「いざ」の時、 行動ができる訓練を！



くすもと ちぐさ 議員
楠本 千草

問

「AED」を一般の人が使えるようになって20年。板野

町でも、各学校や公共施設また事業所に設置されて人命救助につながったケースがあると思うが、一般市民による使用率向上が課題である。

私は、町消防団第5分団の二員として、講習を受けたが、手順どおり心肺蘇生ができなかった。

AEDを使う勇氣を持つこと、使うことが命を守ることにつながるものと思っている。

そこで、小学校と中学校の生徒たちの命を守る活動の一環として、AEDへの取組として、小中学校のAEDの設置状況はどうか。

答

大坂分校を含む各小学校に1台ずつ職員室又は保健室に設置。中学校では職員

室と武道館に設置し、わかりやすく看板で設置箇所の表示をしている。教育施設等では、各幼稚園や健康の館などに10台設置している。なお、学校では、不測の事態でこれまでにAEDを使用したことはない。

問

生徒たちが、『ここにAEDがある』『この機械は、命を救う機械だ』として

かり認識できる取組もしていると思うが、「教職員の方を対象としたAEDを含む心肺蘇生実技講習の実施状況」「生徒への啓発と講習」はどういう状況か。

答

実際の使用では、命に関わる非常に

緊迫した状況が想定される。

各小学校では、毎年、西部消防署の方などから、6年生と教職員・保護者を対象に使用方法や心臓マッサージなどの講習会を行っている。

また、中学校では、教職員は講習会などで訓練を重ね、2年生は保健体育の授業で心肺蘇生の中で、AEDについて学習をしている。

問

小学校高学年から中学校では、

部活動をしている生徒たちが数多くいる。部活動ごとに講習の機会も今後検討をしていたきたいが、今後の取組について聞きたい。

答

今後も、不測の事態に対応できるようにAEDの日常点検を徹底する。教職員は、

緊急時でも迅速かつ適切に対応するため訓練の頻度を上げ、使用方法・手順などを再確認し、緊急時の実践力の向上を図っていく。

また、状況によっては、先生がいない場合も想定されことから6年生の児童及び生徒を対象に今後も機会を捉え、実践的な講習などを実施し、不測の事態に対応できるよう努める。



一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

質問事項：ゴミの減量と
リサイクル活動強化について

一人一日 40g で
年間 200 t 削減！



おおた よしかず
太田 良和 議員

問

新ごみ処理施設の完成予定は2年8か月先となり、運営費等も大きな負担となっている。板野町の可燃ごみの総重量は3,835tと聞いているが、ごみの分別・リサイクル・減量について、お伺いする。分別とリサイクルを行うことで、可燃ごみの削減を図る観点から板野町においては、回収団体への報奨金制度があるが、現状はどのような状態なのか、説明を求めている。

答

資源ごみ回収団体への報奨金制度については、平成4年度から報奨金交付をしている。ごみの減量化とリサイクルの推進を目的とし、町内に25団体が報奨金制度を利用し、

問

令和7年度からは、全ての品目で1kg当たり5円、報奨金の値上げをさせていただく。減量の観点から、生ごみは可燃ごみの中で約40%を占めており、大半が水分と認識している。板野町では、生ごみ処理機購入補助事業を行い、乾燥させて可燃ごみ肥料としているが、成果と課題について、説明を求めている。

答

生ごみ処理機購入事業補助金については、平成12年の制度開始から現在まで187台の申請を頂き、274万7,157円の補助金を交付している。令和7年度から補助金額の引上げを行い、電気式は購入金額の3分の2、上限3万円とし、

問

新ごみ処理施設の整備が整うまでの間に、ごみの減量・リサイクル対策の方針について、説明を求めている。

答

令和7年8月以降、1市2町で集めたごみを県外へ搬出し、処理する予定である。

その他の質問

●板野町鳥獣被害防止対策について



一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

質問事項：学校運営協議会制度の活用について

子どもたちの想像力を育む教育を！



ふじた ちほ 議員
藤田 千穂

問

文部科学省では、学校が地域住民とともに目標やビジョンを共有し、地域体となって子どもたちを育むために「コミュニティスクール」と呼ばれる学校運営協議会制度を制定している。子どもたちの経験や様々な出会いを増やし可能性を広げるために、この制度を活用し特色ある学校づくりができていますか。

答

学校運営協議会は、教職員及び各PTA会長・学識経験者・各種団体の代表などで構成。各幼稚園・小学校は合同、中学校は単独で、年2回、学校運営協議会を開催している（コロナ禍は書面開催）。園長・校長

問

県外では「芸術士」と呼ばれる専門職が定期的に教育機関を訪問し、様々な芸術活動を活性化させている例もある。芸術的情操教育に力を入れることで、豊かな感性や個性・想像力などを育み、子どもたちが自分の想像力に自信を持ち、未来を切り開いていく力を養うことができる。単発の取組に終始することなく、時代の変化に合わせた継続的な取組が必要。学校

県外では「芸術士」と呼ばれる専門職が定期的に教育機関を訪問し、様々な芸術活動を活性化させている例もある。芸術

答

情操教育の一環として既に取り組んでおり、小学校では演劇公演、イラストレーターと一緒に壁画制作などを予定。中学校では、地元メーカーと連携したケーキ開発を行い、マーケティングやコマース戦略

情操教育の一環として既に取り組んでおり、小学校では演劇公演、イラストレーターと一緒に壁画制作などを予定。中学

などを学び「文部科学大臣表彰」を受賞。自己肯定感の向上につながっている。そのほかにも「コンサート」や「邦楽体験」「阿波木偶箱まわし」などを計画。今年度の行事は既に決定しているため、令和7年度において学校側で精査し、運営協議会でも意見を聞き、検討したい。

その他の質問

● 防災情報のLINE活用について

一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。



質問事項：要介護認定者へのおむつ支給について

要介護認定者へおむつの支援を！



いしだ みる
石田 実 議員

問

おむつ支給については、介護施設に入所すれば、おむつは介護保険から支給される。しかし、在宅介護では支給されない。ここを何とか改善できないかと思っている。高齢者のおむつは、1か月、幅はあるが約6,000円から1万円いるといわれている。

第9期の介護保険事業計画及び福祉計画の中で、各種調査の結果

が出ており、在宅介護では、主な介護者の本人との関係では、「子

が45・6%と最も多く、その介護者の勤務形態が「働いていない」が55・

1%となっている。それで、年金のことも別途

調べてみると、令和4年度の国民年金支給額は、平均月額で5万6,

000円となっている。

これでは、高齢者を抱える子どもさんにとっても生活は厳しい状況がわかる。そこで、「家族介護支援事業実施要綱」の中で、要介護4若しくは5と判定された人に対しては、購入費の助成がある。紙おむつ・尿取りパッドなどが対象ということである。要件である要介護3から5を受けた非課税世帯に対しても、紙おむつの支援はしてはどうか。

答

町では、要介護4及び要介護5

の高齢者を介護している非課税世帯、御家族

の身体的・経済的負担を軽減し、在宅福祉の

向上を図ることを目的に、板野町家族介護支

援事業を実施している。紙おむつなどの介護用品の購入助成を年

6万円を限度に行っているが、介護保険のサービスを利用して

いると、受けられなかった事業を令和4年度からは、介護保険でも施設サービス等を利用し

ていない方は、この助成が受けられるよう要件の緩和をしている。

介護保険で給付を行う場合、掛かった費用の12・5%が町負担とおおむね決まっている

が、この事業で行う場合、国や県の補助はなく、全額町負担となる。

要介護3の方に要件を引き下げた場合の影響

がどれくらいあるのか、また、他市町村の動向も見ながら、注視

してまいりたい。

その他の質問

● 高齢者の緊急時の対応について

● 鳥獣被害対策について

● 板野町の歴史・文化について



一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

質問事項：中央広域環境施設組合積替保管 施設整備事業について

運搬費用に不信感、 不透明な事業！



みはら だいすけ
三原 大輔 議員

問

ごみ処理施設閉鎖から新施設稼働までの約3年間のごみ処理について検討がされてきたが、中央広域環境施設組合が行った公募型プロポーザルでの公示に対し、唯一、応募のあったジェム力事業グループが積替保管施設整備事業を担うことに決定した。公募前にジェム力をお願いして行ったという事前見積は、私がジェム力に確認したところ、組合側から上限額の提示を受け、それ以内で見積りを行ったと回答を受けた。ジェム力事業グループは、三つの会社の事業体だが、各々3社に個別に事前見積をお願いしたのか。

答

3社に個別に行ったものでは

再問

見積額が適正であると判断したということではないか。

答

当然、正確な、正当な理由と考える。

問

四国合同通運株式会社が担う運搬業務費用について、2年8か月で17億810万6,400円となっているが、1台1回いくらの金額で積算しているのか。

答

ごみの運搬・処理費用として、年間11億6,860万円の債務負担行為を設定し、事業者選定の手続を進めたと聞いている。

再問

計算してみたら、トラックが1回、山口に行くのに40万ぐらい

の金額になる。非常に高いと感じるが適正価格なのか。

答

17億ということではなく、上限として11億6,860万円の債務負担行為を設定している。

問

全員協議会で頂いた資料には、17億と書いていたが、内訳など疑問が湧いてきたので、次の機会に質問させてもらいたい。

6月の議会で可決された補正予算に、積替保管施設整備事業に係る車両確保費が入っていたが、詳細がわからない。阿波市・上板町・板野町合わせて1億4,300万円の車両確保費は、どの会社にも、どの名目で支払うのか。車両の購入費なのか、リース料なのか、内訳

は。

答

事業者により車両確保の方法は異なると考えられる。費用の上限を設けるにとどめ、運営方法は事業者の提案によるものとしている。

問

1億4,300万円が何に使われるのかわからないままだが、この額を上限として、これより安い場合もあるのか。

答

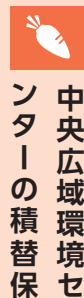
この事業は中央広域環境施設組合が主体となっており、答弁としては先ほど申し上げたとおり。

その他の質問

●板野町の盛土造成地の地盤調査について

一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

全員協議会報告



中央広域環境センターの積替保管施設について

積替保管施設

優先交渉権者決定

新ごみ処理施設を令和9年度末、整備工事試運転の完了予定までの間、現施設を積替保管施設として施設外搬出を行う積替保管施設整備等のため、公募型



中央広域環境センター

●ジェムカ事業グループ

ジェムカ(株) (山口県萩市)……代表企業・運転・ごみ処理業務
松村建設(株) (山口県萩市)……改造工事の設計及び施工
四国合同通運(株) (阿波市)……ごみ運搬業務

●見積金額の業務別内訳

改造工事 (設計・施工)	2 億 4 8 百 万 円
運営業務	3 4 億 4 4 百 万 円
運転業務 (積替保管施設の運転・維持管理)	2 億 9 百 万 円
ごみ運搬業務	1 7 億 8 百 万 円
ごみ処理業務	1 3 億 8 4 百 万 円
車両確保費 (準備経費)	1 億 4 3 百 万 円

プロポーザル方式により、優先交渉権者に、ジェムカ事業グループが決定した経緯の報告
◎優先交渉権者・見積金額は次のとおり
がありました。

計画費 (44百万円)	平等割 (3町で均等)
用地費 (38百万円)	石井町全額負担
施設整備費 (32億円)	平等割 20% 人口割 50% 単独炉数割 30%
施設運営費 (施設整備後)	平等割 20% 利用者割 80%
周辺整備費 (上限 施設整備費の2割)	神山村・板野町で負担 平等割 20% 人口割 50% 単独炉数割 30%

◎予定事業費と負担割合は次のとおり
あります。
日に締結をした報告があり
ました。



広域斎場 (石井町・神山村・板野町) について

広域斎場の整備及び管理運営に関する協定書を締結

3 町で計画している

広域火葬を行う斎場の整備と管理運営に関する

事務を行う上での、

基本的事項を定める協

定を、令和6年8月19

日に締結をした報告が

ありました。

◎予定事業費と負担割

合は次のとおり



本町の今後の災害対応について

南海トラフ地震臨時情

報を受け、迅速に対応

令和6年8月8日に

日向灘を震源とした震

度6強の地震が発生。

気象庁から南海トラ

フ地震臨時情報が発表

され、板野町では、防

災計画に基づき準備体

制を整え情報収集等の

対応をし、気象庁から

の巨大地震警戒の発表

後は、住民の皆さまに

対し、避難場所や経路

の確認、家具の固定、

非常持ち出し袋の確認

についてホームページ

に、行政無線などで呼

びかけを行いました。

また、防災担当課は、

備蓄品の確認、常に公

用車の燃料を満タンに

するなどの対応を行

いました。

住民の皆さまから

も、避難所の確認など

の問合せも多くあり、

持ち出し袋の中身の確

認ができたというお声

もありました。また、

9月議会、水循環型

シャワーセットの購入

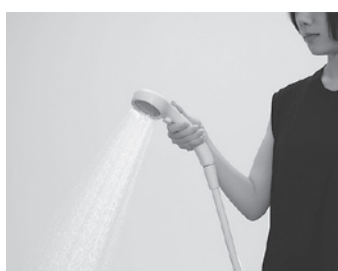
予算を計上し、備蓄に

備えていくとの報告が

ありました。



WOTABOX



ペーパーレス化で経費削減！議会を更に活性化・効率化！

板野町議会では、電子データを用いた会議システムを利用し、タブレット端末の導入を進めています。
これまでの導入に向けての取組や、進捗状況などをお知らせします。

導入のメリット

- 経費の削減** 紙代や印刷代が削減できます。環境負荷の低減にも役立ちます。
- 議員活動の充実** 情報の収集や共有が容易になり議員活動の幅が広がります。
- 議会や委員会等での運用**
情報収集力の向上により、より深い議論に繋がります。紙の資料が電子化され利便性・視認性が向上します。災害や感染症発生時など、緊急時のオンライン会議にも対応することが可能となります。
- 議会事務の効率化** 事務局との連絡・通知の即時共有化などに役立ちます。

令和6年第1回定例会で予算可決

議会ペーパーレス会議システム導入事業のための予算が可決されました。

公募型プロポーザル方式により事業者を選定

7月16日、公募型プロポーザル方式（提案を募集し、その中から最適な事業者を選定する方式）により事業者を選定するため、プレゼンテーション及びヒアリング審査を実施しました。審査の結果、株式会社NTTデータ四国を選定し、7月22日付けで契約を結びました。

タブレット納品

10月1日、タブレットが納品されました。



県内では、すでに24市町村の内13市町村が導入しております。また、3市町が来年度中に導入予定です。

板野町では今後、タブレット使用方法などについて研修を行い、実際に議会で運用するための準備を進めていきます。

左：iPad Air
(13.0 インチ Wi-Fi モデル)
右：iPad
(10.9 インチ Wi-Fi モデル)

台数：計 31 台
(議員 12 台、監査委員 1 台、理事者側 16 台、事務局 2 台)

価格：iPad 本体とペンシル等その他必要となる備品の購入代金、本体設定や研修費等の作業費など、導入業務に係る費用全て合わせて 430 万円

議長全国要望活動
(高速道路4車線化・
四国新幹線)

8月20日、東京都の都道府県会館で「徳島自動車道等整備促進決起大会及び要望活動」が開催され、出席しました。この大会では、徳島自動車道4車線化などの早期実現に向け、県の総意でまとめられた決議が採択され実施計画の早期策定や予算確保を訴えました。

21日には、東京プリンスホテルで開催された「四国新幹線整備促進期成会 第6回東京大会」に出席。四国への新幹線整備の早期実現に向け、要望活動にも参加しました。

板野町敬老会

9月16日、文化の館さくらホールにおいて、板野町敬老会が開催され、来賓で出席させていたいただきました。



徳島県町村議会
議員研修

8月8日、徳島グランヴィリオホテルで「徳島県町村議会議員研修」が開催され、出席しました。この研修会では、二つの講演が行われ、元陸上幕僚長の岩田清文氏による講演「台湾・日本有事に備え、戦争を抑止する」と、同志社大学名誉教授の新川達郎氏による講演「災害時における議会の役割」を聴講しました。



議会のつぎき・出席行事等

7月

- 4日 徳島板野西部防犯連合会
板野町まちづくり推進協議会
議会運営委員会
- 5日 徳島県環境期成同盟会総会
図上訓練
- 10日 第2回臨時会
- 12日 徳島県町村議会議長会 定期総会

8月

- 1日 議会広報特別委員会
- 2日 3日 四国土砂防災ネットワーク議員連盟総会(愛媛県)
- 5日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会
全員協議会・定例会
- 6日 松茂町ほか2町競艇事業組合 記念レース
- 8日 板野郡議長会定例会・意見交換会
徳島県町村議会議員研修
給食センター業務委託プロポーザル
徳島道4車線化要望活動(東京都)
- 20日 四国新幹線要望活動(東京都)
- 21日 議会運営委員会
- 22日 28日 松茂町ほか2町競艇事業組合議会議員視察研修
- 29日 中央広域環境施設組合 臨時会
- 30日 9月議会定例会1日目(開会・町長提案理由説明等)

9月

- 2日 厚生常任委員協議会
産業建設常任委員協議会
総務文教常任委員協議会
- 3日 9月議会定例会2日目(一般質問・議案審議)
- 6日 9月議会定例会3日目(議案審議・閉会)
- 12日 議会広報特別委員会
- 16日 板野町敬老会
- 24日 25日 四国四県町村長・議長大会(愛媛県)

編 集 後 記

昨年、新たな議員構成で議会が始まり、はや1年がたちました。新人の私は勉強しなければならぬことが山積みですが、議会の1年の流れを通じて、町の動きや携わる方々の動きがやっと見えてきたように思います。

議会でのようなことが話し合われているのか、伝わりやすい議会だよりになるよう小さな工夫を重ねていきたいと思えます。広報紙すがおと併せて毎月お目通しいただけると幸いです。

議会広報特別委員 藤田 千穂

議会だより意見募集

議会だよりを、より充実した内容にするため、町民の皆様のご意見を募集します。議会だよりについてご意見いただける方は、下記の連絡先(電話・メール・FAX)まで、お願いいたします。

傍聴のご案内

定例会は、3月・6月・9月・12月に開催します。議場でどのような発言をしているのか、お越しいただき、お確かめください。お問合せは議会事務局まで。

電話 088(672) 5991